

国頭地区

三浦通作
二於
ケル

遊撃第四大隊史実資料

昭和三十三年三月十日
第三十二軍残務整理部

恩納岳戰鬥兵力概見表

第四遊軍隊 (第四中隊欠)

第一中隊 約一二〇

第二中隊 約一二〇

第三中隊 約一二〇

大鹿隊 (四田飛大) 約一〇〇

田中隊 (全石) 約一〇〇

二階堂隊 (海兵) 約一〇〇

好東隊 (一部) 約一〇〇

青柳中 (山岳附) 約一五〇

信指揮 (其他部隊) 約一五〇

三月二十五日配屬
四月九日恩納岳二集結假編入
四月九日恩納岳二集結假編入

實施戰鬥

- 石川岳戰鬥
- 牙一項遊軍戰鬥
- 牙一次恩納岳戰鬥
- 牙二次恩納岳戰鬥
- 牙三次恩納岳戰鬥

井本

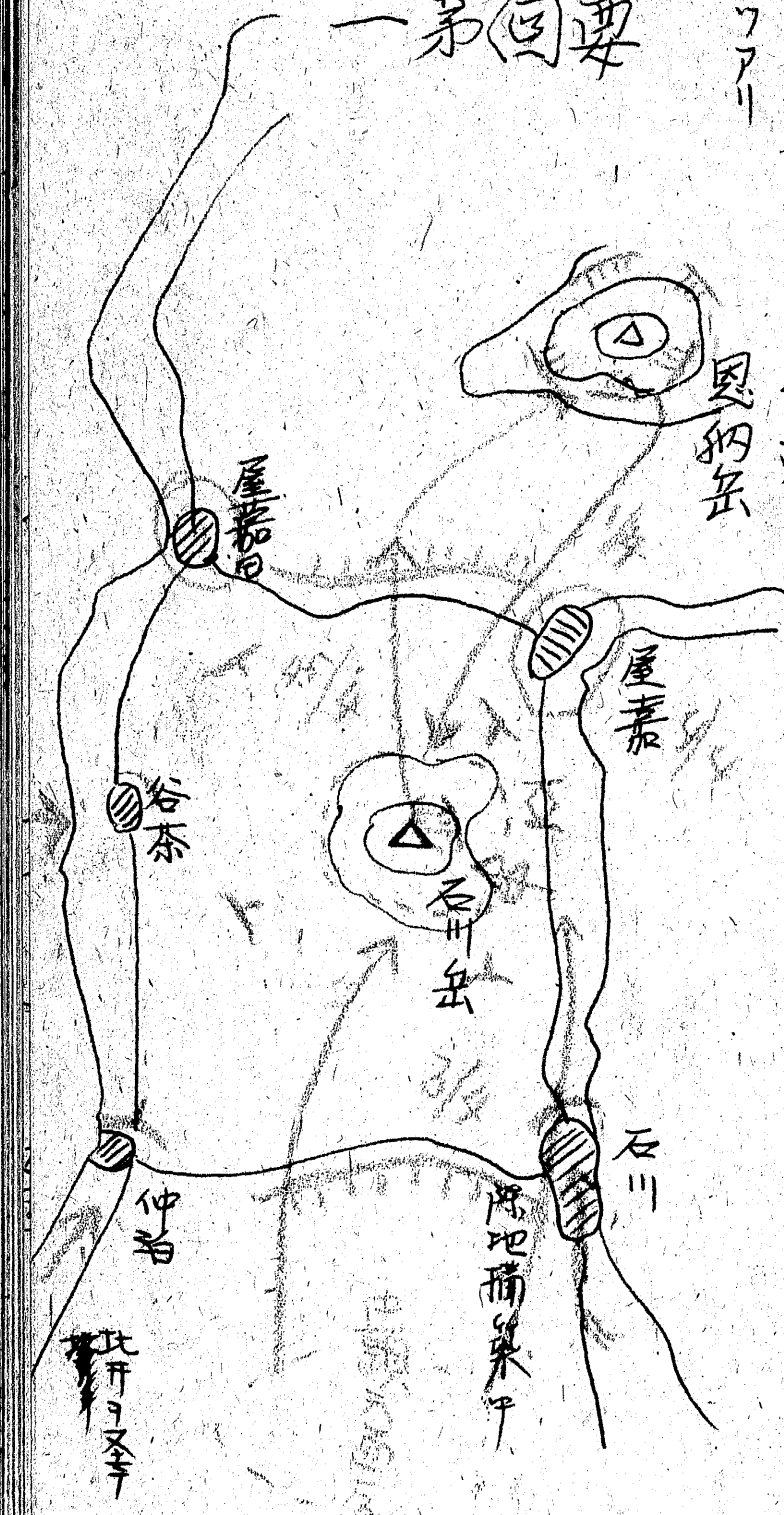
北野松進戦年
 群密遊兵戦斗準備

石川岳 戦闘

自四月一日

二般ノ状況
 四月一日嘉平名附近に上陸セル敵は四月三日既ニ石川一仲泊ノ線ニ
 進出ス四月四日朝来石川岳ニ対シ砲爆更ヲ加ヘ夕迄屋嘉屋
 嘉田一線ニ進出シ谷茶附近ヨリ上陸ニ石川岳ヲ包圍攻取ル
 四月一日夜以來北中飛竹場方面部隊ハ中頭ヲ頭ニ面ヨリ東海
 岸道ヲ頭方面ニ移動中ナリ四月三日来石川岳ニ諸山部隊集結
 ミツワアリ

第一回要



二 戰鬥經過概要

一 四月一日夜暗ヲ利早ニ本部第一第三中隊ノモカヲ以テ中頭
 方面遊軍ノ目的ヲ以テ石川據点ニ進出ス
 二 嘉平納附近ニ上陸セル敵、進出ヲ阻シ早急ヲシタスヲ以テ潛入
 セシメタル中頭情報収集班ト、連絡断絶ニ付候ヲ潛入セシメタ
 ルモ情報意、如ク入斗ニ得ス
 三 敵中頭方面進出ニ先ケ石川仲着橋梁ヲ爆破シ、煙帯
 ヲカケリ石川岳ニ於テハ包圍ヲ秘送シ潛伏セシメ包圍セル中頭ヲ
 中頭方面交際ノ侵入アリ所東果露ニ四月四日包圍攻取ラ
 受ク
 四 状況ヨリ中頭方面遊軍ヲ中止シ一先ニ恩納岳本據ニ復歸スルニ
 決ニ夜暗ニ至ル迄之ヲ支フベク部隊ヲ配備セシメテ伏軍ヨリ敵
 進出ヲ妨害ス
 五 敵ハ岳麓友軍ト交戦シ砲爆更ヲ至トシテ進出証跡ヲ示ス
 六 夜暗ニ至リ一部所集積ヲ一先ニ突破シテ中頭進出開始セルニ突
 破線ニ至ラスニテ時々一部ハ晝間強固突破セルモカハ谷地ニ分散潛
 伏ニ五月夜暗ヲ待テテ敵ノ抵抗ヲ排除シテ之ヲ突破六日迄ニ概
 亦恩納岳ニ集結ヲ完了ス

三 戦果

人員殺傷
 四 我々ノ損害

戦死
 戦傷

第一次遊軍戦闘

一般状況

敵ハ東西ニ縦隊ヲ以テ北上シツワカリ恩納金武ニ一部兵力
 設置シ海上陸ヨリ兵力資材ヲ補給シ逐次集結シ其基地
 設定作業準備中ナルモノ、如恩納ニ兵輛多数集結
 シリ信尾一部自由ニ部落ニ出入シカリ

数名
 数名
 数名

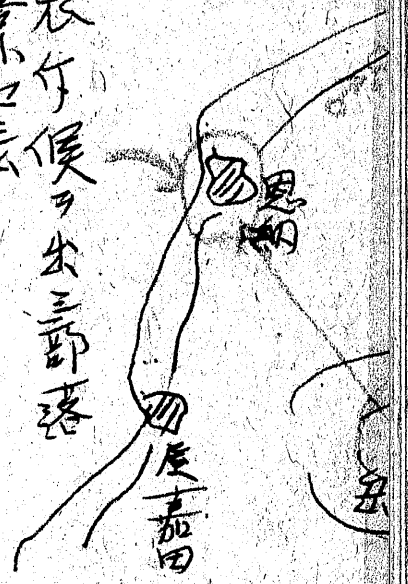
自四月八日

二 第四圖



戦手経過の概要

1. 四月七日 敵租便衣隊を俣ヶ出三部落に因納遊軍
 2. 四月七日 敵租便衣隊を俣ヶ出三部落に因納遊軍
 3. 四月八日 敵租便衣隊を俣ヶ出三部落に因納遊軍
 4. 四月八日 敵租便衣隊を俣ヶ出三部落に因納遊軍
 5. 四月八日 敵租便衣隊を俣ヶ出三部落に因納遊軍
- 戦果の概況
- 戦車三隻 装甲車一貨車五
 大砲一
 電機一
 弾薬庫一
 燃料一
 食糧品 若干
 其他 若干



(二) 全武遊軍

1. 四月八日 第一中隊主力ヲ以テ遊軍ヲ實施シタルモ準備不慮充分ニタテ成功セズ
2. 四月十日 第一中隊主力ヲ以テ再々遊軍ニ乗セルモ敵ノ警戒ニ戒
3. 四月十一日 夜各隊ノ一部ハ新天度隊(田飛大)ノ一部ヲ加ヘ
4. 四月十一日 夜各隊ノ一部ハ新天度隊(田飛大)ノ一部ヲ加ヘ
5. 四月十一日 夜各隊ノ一部ハ新天度隊(田飛大)ノ一部ヲ加ヘ

戦果

- 戦車三隻 装甲車一 貨車五
 大砲一
 電機一
 弾薬庫一
 燃料一
 食糧品 若干
 其他 若干

人員殺傷

- 鹵獲品
 小銃拳銃後装薬防毒面等
 食糧品 其他
 其他 若干

鹵獲品

- 人員殺傷 若干
 鹵獲品 若干

第一次因納糸戰鬥 自四月十日

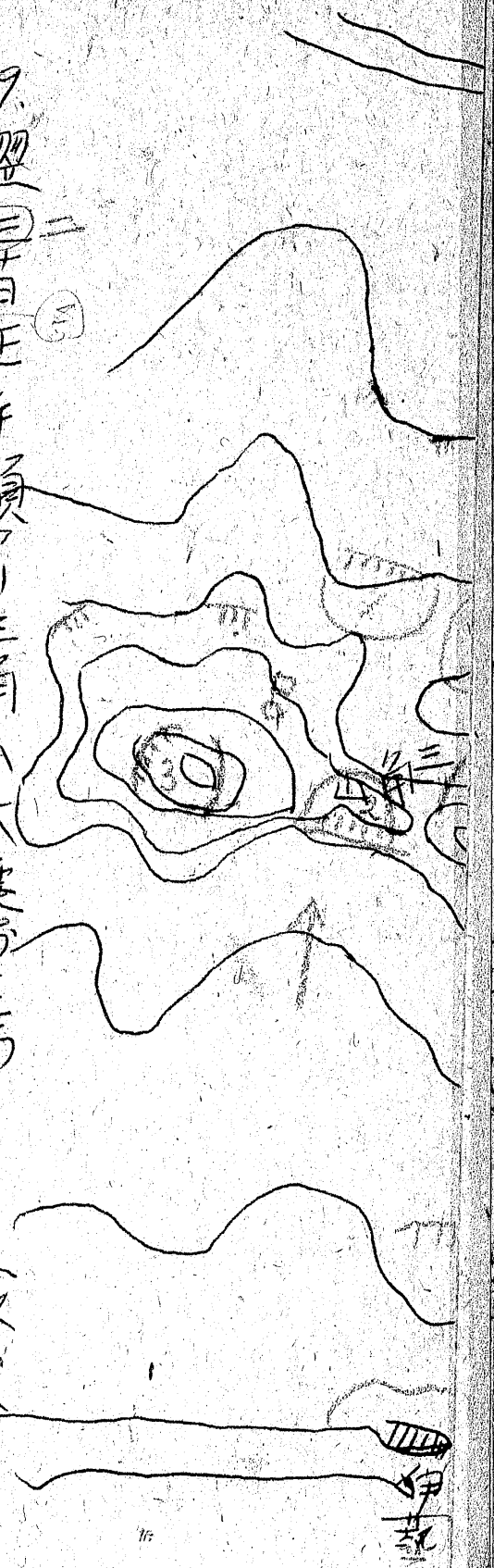
一、敵ハ七日本部羊嶋上陸本部本部方面ノ戰鬥激化
 シツコリテ西海岸道ヲ名護方面ニ対スル兵力資材ノ
 輸送ハトミニ活護代ミクク之カタノ部隊ハ盛昌ニ於ケル
 東編伏重ヲ活護アラシムルト共ニ因納全武ニ対スル遊
 ヲ實施セルタメ我カ因納糸基地ヲ察知セルモノ如ク
 警言戒嚴重ヲ加ヘツツアリ
 二、戰鬥經過ノ概要
 人四月十日正午頃全武方面ノ敵約三三時ヨリ攻圍ニ
 来ニルモ我ハ道ヲ遊更交戦約三時ヨリ棄退セリ
 之後到戦東三村ノ掩護射重下ニ攻圍ニ来ニルモ死体
 ヲ敵ニ送リ全武ニ集結セリ
 三、戰果相當大ナリモ我方ノ損重海ヤカラス
 了聖十三音朝来我軍数輛ノ砲掩護入下攻圍ニ来ニル
 敵直ニ遊更撃退ス
 敵ハ攻圍ヲ中止セルモ小麓ヨリ撤退ス伊藝附近ニ陳地構
 築シ企圖ヲ示ルモノ如ク

六十四五六日戦車砲迫至砲ヲ以テ攻圍ニ来ニルモ真面
 目ナル攻圍ヲ加ヘ来ラス
 五、部隊ハ配備正面過大ナリ以テ眼鏡山ヲ放云来ニ配備ヲ
 縮少鏡竟陳地ノ構築ニ努ム(要回第三参照)
 六、四月七日安富廻方面ニ戦車ヲ伴フ敵約百出現十八日朝
 来攻至ヲ開始ス 第一中隊ヲ折ニ送リ方面ニ配備ス
 又此ノ向夜暗ヲ利用シ敵陣地ニ遊去ニ若テハ戦果アリ
 八、十九日眼鏡山ニ遊去地ニヨリ大鹿隊正面ニ戦車砲迫至
 砲猛烈ナル掩護下ト具面目ナル攻圍アリ彼我共ニ損重
 大ナリニモ夜暗ニ至リ更退ス

要回第三



9. 翌(三)日正午頃アリ三角山 大岳南正面ニ討ニ猛攻ニ来ル
激戦敵斗セルモ力及バズ 三角山遂ニ敵手ニ陥ル
10. 直チニ(三)中隊ノ主力ヲ以テ夜襲奮闘ヲ敢ハタシテ損入甚
多成功セズ同夜直チニ配備ヲ変更ス
11. 敵(三)中隊トシテ迫雲砲重ヲ以テニ進出ニ来ラズ
ハ敵ノ敵第(三)中隊正面ニ攻去ニ来シモ要退ス
12. 因初兵頂上ヲ中心トシテ配備ヲ縮少シテ配備ヲ強化シ
徹底抗戦以テ敵兵力ノ長期的引ヲ企圖ニ全面的ニ



配備ヲ変更ス(要図ヲ参考)

○尔後連日迫雲砲ニ自目射要ノハニシテ午後候迄進出ハ
我ハ特配備ニ於テ鋭意陣地ヲ構築敵亦岳麓岳麓
ニ陣地ヲ強化シカリ

4. 二十七日ニ至リ敵砲重ヲ岳麓ノ敵モ逐次移動ノ模様
ニシテ三角山ノ敵撤収セリ敵ハ南ヲ主力正面作戦ノ激化
ニ伴ヒ兵力抽出ヤラレタルモ、如シ

5. 第三中隊ヲ對シ三角山ニ配備陣地ヲ構築セシム

6. 三十日ニ至ルモ岳麓ハ陣地構築ヲ續行中アリシモ五月一日ニ
至リ伊藤守富預方面ノ敵ハ撤収ヲ開始セリ

三戰果
人負殺傷
破壊
鹵護品

約三〇〇
戰車ニ
兵器
小銃
彈藥
相當多

四我方損害

我死 約五〇
負傷 約七〇

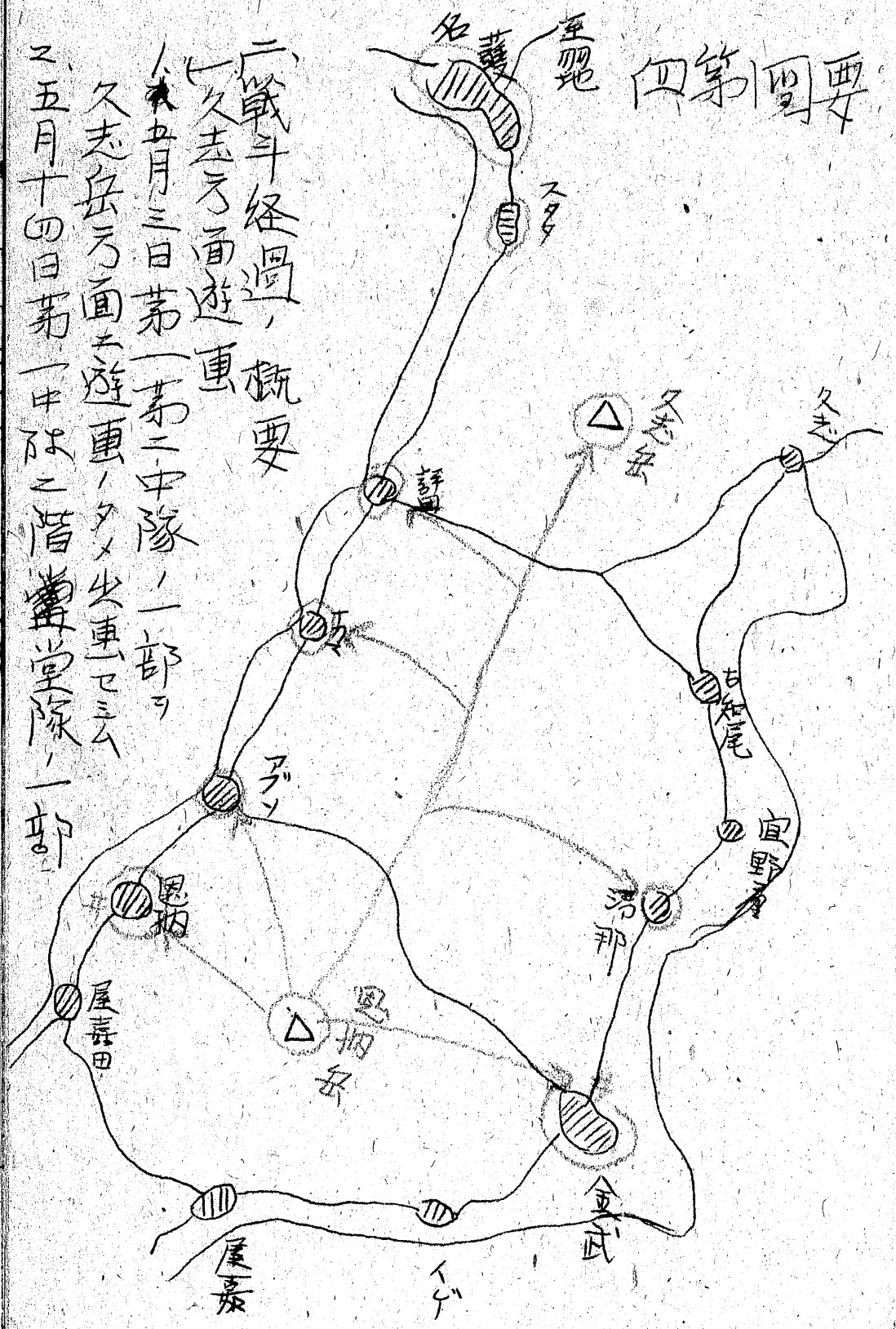
自五月三日
至五月五日

第二次遊撃戰鬥

一般狀況

軍主力正面作戰激化セモ、如ク敵尾頭部隊ハ
續南下中アリ
四月十六日以来尾頭支隊本部ト、連絡社統ニ北部
方面、狀況不明アリ
又敵ハ金武因拘ニ飛リ、場ヲ設定シ初ム
部隊ハ作戰計畫ノ改訂ニ基キ、銳意陣地ノ構築ニ努
ムルト共ニ任務ニ基キ後方ノ攪亂警備兵力ノ吸收ヲ
圖ルベク遊撃活動ヲ活発アラシム

要圖第四



二戰鬥經過、概要

一、久志方面遊撃
五月三日第一第二中隊ノ一部ヲ
久志岳方面ニ遊撃ノタメ出軍セシム
之五月十四日第一中隊之階級黨隊ノ一部

久志岳方面遊軍、シム出軍 戦果ヲ收ム

(一) 恩納岳周辺伏軍其他

1. 五月四日以来恩納方面ヨリ田中隊正面ニ少數ノ敵進出
伏軍ヨリ殺傷多シ我兵亦傷ヲ損害若干アリ

2. 安富嶺方面進出ノ敵ニ対シホ一オニ中隊ノ一部ヲ以テ殺
次ニ且ク伏軍戦果ヲ擧ゲ

3. 五月十八日第一第三中隊 田中隊ヲ以テ十九日ニ階堂隊ヲ
以テ東西両沿岸道橋梁ノ破壊及伏軍ヲ實質施ス

4. 敵ハ路上ニ大ニ兵力ヲ配置シ修理警戒ニ狂奔シアリ
伏軍ヲ師レ夜間ノ車輛運送ヲ絶シ

(二) 恩納遊軍

1. 五月十三日田中隊主力ヲ以テ飛行場設定ニ伴フ集結兵
力ヲ遊軍戦果ヲ收ム

2. 十八日再反テ遊軍戦果ヲ收ム

(四) 金武遊軍

1. 数日來金武住民ヲ利用シ又青年兵ノ便兵ノ便衣
ヲ準備ス
飛行場附近ノ線索ヲ捜索ヨリ遊軍

2. 五月十六日正カヲ以テ金武ヲ攻軍徹底的破壊ニヨリ
飛行場ノ設定ヲ不能トラメント企圖セシメテ敢テ戦
果ノ收メ得ガリシモ大ナル 戦果ヲ擧ゲ

(三) 綜合戦果

破壊 自動車三 トラクター二 迫撃砲一 中一
幕舎九 ドラム銃九〇 砲

人員殺傷 約三〇〇
鹵獲品 兵器 炸藥 被服 食糧品

(四) 我方ノ損傷

戦死 負傷 若干